



イチジク
(裏庭)

つな が り

自ら動き、感じ、楽しむ ~笑顔あふれる幼稚園~
~やさしく かしく たくましく~

第 6 号

令和4年9月5日発行
山口大学教育学部附属幼稚園

副園長 大森 洋子

充実した2学期となるように

子どもたちの元気な声と笑顔が幼稚園に戻ってきました。やはり、園児の歓声が響いてこそこの幼稚園ですね。園庭の木々や花や遊具たちも、園児の姿があると活気づいて見えます。子どもたちもきっと、2学期の始まりを楽しみにしていたことと思います。「『早く幼稚園に行きたい』って言っていたんですよ」という声を聞き、とても嬉しくなりました。

中には、休み明けでエンジンがかかりにくいお子さんもあるかと思いますが、焦らず、それぞれのペースで園で生活するリズムをつくってあげればよいと思います。私たちは、登園して来た子どもたちが、どの子どもも、いろいろな経験をおして「楽しかった」と思えるように、「明日も来よう」、「またやりたい」、「次はこうしよう」、と思えるように、かかわっていきたくと思っています。充実した2学期となるように職員一同力を合わせて頑張ります。今学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

始業式を終えた子どもたちは、まるで昨日の続きかのように、いつもの遊びや好きな遊びにスーッと入っていききました。「幼稚園に行ったら〇〇しよう」と思いながら登園したのでしょうか。アサガオで色水を作ったり、種をとったり、イチジクやマロニエの実をとったりと、この時期ならではの環境に関わって遊ぶ姿も見られました。2学期になると、出会うものや人やできごとがうんと増えてきます。また、いろいろな遊びをおして、友達関係もその年齢なりに次第に深まっていく時期でもあります。成長を楽しみにしながら、温かく見守っていただけたらと思います。

5日(月)より、教育実習も始まりました。実習は、学生にとって実際の現場で学べる大切な経験ですが、子どもたちにとっても、若く情熱あふれる先生たちと一緒に過ごせる、楽しい経験でもあります。お互いにとって「よいとき」となるようにしていきたいと思っています。

実習生には、毎朝健康チェックを実施しています。実習生自身も、感染拡大防止に細心の注意を払って実習に臨んでいます。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



花組：アサガオで色水作り。自然物から出る色はとてもきれいです。



「そうそう、これがやりたかったんよねー」という感じで、三輪車〔花組〕や砂場〔風組〕に直行。覚えていたのですね。



風組：なっている役の名前をガムテープに書いて胸に貼り、何やら相談中。それなりに話を合わせながら遊んでいます。



星組：「待ってました！」とばかりに、乗り物の工作を始める子どもたちと、しっぽりを始める子どもたち。40日以上休みがあったようには見えず、まるで昨日の続きを始めたかのようです。それぞれに目的をもって取り組んでいることがうかがえます。



除草作業等ありがとうございました ・ 「優良 PTA 文部科学大臣表彰」 おめでとうございます

8月28日(日)にはピーマン Jr. のお父様方、始業式にはお母様方に除草作業をしていただき、本当にありがとうございました。今年の夏は雨が多く、草もたくさん生えましたが、とても綺麗になり、気持ちよく2学期が過ごせる環境になりました。父様方には、木製テーブル等にも防腐剤を塗っていただき、リニューアルできました。ありがとうございました。



このような活動も含め、様々なPTA活動が評価され、本園PTAは、このたび「令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰」を受けました。「子どもたちの笑顔のために」「できる人ができる形で」という考え方のもとで、コロナ禍でも止めずに工夫して取り組んだ各部の活動やピーマン Jr. の会、ボランティアを募集しての活動などの実績が高く評価されました。

表彰状は、吉木 PTA 会長が代表して伝達式にて受けとってくださり、玄関ホールに飾ってあります。山口大学ホームページの「トピックス」に、表彰に関する記事が掲載されていますので、ご覧ください。



新型コロナ：感染防止対策とともに感染したときのことを考えておきましょう

- 山口県の新型コロナ感染状況は、9月に入ってから減少傾向にはありますが、依然高止まりの状態が続いています。もはや、コロナ感染はとて身近なこととなり、いつ誰が感染しても不思議ではなくなりました。
 - ・現在の新型コロナは、山口県でも感染速度がより速いとされるオミクロン株 BA.5 が主流で（8月の BA.5 検出率は 97.0%）で、子どもも感染しやすく、重症化も報告されており、十分注意が必要です。
- 幼児の場合の基本的な対策は、手洗い・消毒が中心となります。園でもしっかり指導してまいりますので、ご家庭でも、引き続き対策をお願いします。
- お子さんの体調管理に十分留意し、少しでも体調が悪い場合は、登園を控えるようにしてください。また、ご家族の方が体調不良の場合も同様に登園を控えてください。（県の感染レベルがレベル2以上の場合は、このような対応になっています。）
- お子さんやご家族が感染した場合や、濃厚接触者になった場合の対応について考えておきましょう。
 - ・厚生労働省や県のホームページにはいろいろな情報が掲載されています。お子さんが感染した場合には、「お子さんが感染したときの見守るポイント」などを参考にされると良いかと思います。
- お子さんが感染した場合や濃厚接触者となった場合は、必ず園にお知らせください。また、同居のご家族の感染等についても可能な限りお知らせください。
- 陽性と診断された場合には、感染拡大防止のため、外出を自粛（待機）し、感染可能期間中に接触した人や感染の可能性のある人に連絡する必要があります。
- 陽性と診断され、自宅療養となった場合の療養期間（待機期間）は、有症状の場合は、発症から10日以上経過かつ症状軽快から72時間以上経過するまで（11日目に解除）、無症状の場合は7日間（8日目に解除）です。
- 園内で感染者が発生した場合、幼稚園は、感染リスクの高い「社会福祉施設等」に該当するため、保健所が積極的疫学調査を行います。（小学校以上の学校の対応とは異なります）
- 濃厚接触者の待機期間は、現在（7/22以降）は、感染者との最終接触日（同居の場合は感染対策を開始した日）から5日間（6日目に解除）です。また、7日間は健康観察期間で、感染リスクの高い場所の利用や会食を避けるなどの感染対策の徹底が必要です。無症状の場合は、必ずしも検査を受ける必要はありませんが、検査で陰性であっても、5日間、7日間の期間は変わりません。また、同居者に新たに感染者が発生した場合には、自宅待機期間等が延長となる場合があります。

* コロナを取り巻く状況は日々変化しており、今後、国の対応も変わっていく可能性があります。正しい情報を収集し、感染拡大防止を心がけましょう。

* コロナと見分けのつきにくい「RSウイルス」や「手足口病」も発生しているようです。「手洗い」を励行しましょう。